



1 「令和5年度 科学倫理生徒研究発表会」を行いました

令和5年12月21日(木)に科学倫理生徒研究発表会を行い、2年次理系生徒が発表しました。2年次理系生徒は自然科学についてのテーマで研究すると同時に、各班のテーマに関連する科学倫理についてもテーマを設定し、探究活動を進めています。今回の発表会は、科学倫理のテーマのみを扱う発表会として今年度新たに行ったものです。また、発表を行わない2年次文系生徒と1年次生徒が聴講しました。

<当日のスケジュール>


8:50~9:20	基調講演（オンライン） 「生命倫理・科学倫理を学ぶ意義と発表と質疑応答での留意事項」 講師：瀬戸山晃一 氏（京都府立医科大学大学院 教授）
9:50~12:20	生徒発表（発表：8分、質疑応答：6分）

はじめに、京都府立医科大学大学院教授の瀬戸山晃一先生にオンラインで基調講演をしていただきました。



本日のお話しのアウトライン

- I. 生命倫理・科学倫理を考える必要性と意義
- II. 自然科学と人文社会科学の相違
- III. 生命倫理の4原則
- IV. 自己決定を制約する4原理
- V. 発表において心がけてほしいこと
～プレゼンと質疑をより充実したものにするために～
- VI. 質疑における留意事項
- VII. みなさんへの期待とメッセージ
まとめ



瀬戸山晃一

その後、体育館に移動し、8分の発表と3分の質疑応答を1回として合計6回の発表会を行いました。どの班でも聴講者は積極的に質問し、発表者も丁寧に対応していました。また、原稿に頼らず、ポスターを用いて自分の言葉で説明しようとする生徒も複数いました。



2 科学部 活躍中！

(1) 第47回兵庫県高等学校総合文化祭自然科学部門発表会

日時：令和5年11月11日(土)

場所：バンドー神戸青少年科学館

<研究発表>

生物系サボテン班が生物系優秀賞、
物理系磁性流体班が物理系優良賞、
地学系マグマ班が奨励賞を受賞！

<ポスター発表>

生物系サボテン班が優秀賞を受賞、令和6年度近畿地区合同発表会への出場権を獲得！



(2) 神戸大学「高校生・私の科学研究発表会 2023」

日時：令和5年11月23日(木・祝)

場所：神戸大学

地学系マグマ班が優秀賞(第1位)を受賞！



(3) JSEC2023 最終審査会(全国大会)

日時：令和5年12月9日(土)、10日(日)

場所：日本科学未来館

生物系サボテン班が花王奨励賞を受賞、
物理系磁性流体班が入選！



(4) 第67回日本学生科学賞

地学系マグマ班が全国大会へ進出！

その他にも「日本地質学会(京都大学)奨励賞」、「令和5年度課題研究合同発表会(京都大学)」、「第46回日本分子生物学会(神戸国際展示場)」など多くの発表会や学会で発表を行っています。

JSECとは、全国の高校生や高等専門学校生を対象とした科学技術の自由研究コンテスト。1次・2次予選を通過して全国大会に進み、上位に入賞した者は、「国際学生科学技術フェア(ISEF)」への出場権を手にすることができる。

3 数学理科甲子園 2023 に出場！

令和5年10月28日(土)に甲南大学で数学理科甲子園2023が行われ、本校から2年次6名が出場しました。全員奮闘しましたが、上位15チームによる本選に残ることはできず、予選敗退となってしまいました。参加生徒たちは、今回の悔しさを胸に、数学オリンピック予選など次の大会に向けて準備を進めています。

数学、理科、科学技術等に関する基本的な問題や応用問題、総合問題をチームで協働して競う大会。今年度は61校(366名)が参加しました。

